

第15期(2020年3月期)第2四半期決算説明会

2019年11月19日



アジアパイルホールディングス株式会社

目次

I 決算のポイント、主なトピックス	1
II マーケットの動向	12
III 決算概要(連結)	17
IV 経営概況	22

I 決算のポイント、主なトピックス

I-1 決算のポイント

➤ 2020年3月期 第2四半期連結業績の概況

(%表示は対前年同期比増減率)

売上高	営業利益	経常利益
469億円 (+8.0%)	27億円 (△7.0%)	24億円 (△13.2%)

増収減益
(前年同期比)

➤ 2020年3月期 連結業績予想に対する進捗状況

売上高	営業利益	経常利益
52.2%	49.7%	47.6%

概ね
計画通り進捗

I-2 決算のポイント

➤ 国内、海外の状況

国内	大型工事増加	工事粗利率低下	国内減益
海外	ベトナムPV社 業容拡大・FCM社連結寄与	ミャンマーVJP社 本 格 稼 働	海外業容拡大中

➤ 部門別売上高

コンクリートパイル 前年同期比+15.1%の増収	場所打杭 同△18.2%の減収	鋼管杭 同△20.9%の減収	主力の コンクリート パイルが好調
-----------------------------	--------------------	-------------------	-------------------------

I-3 主なトピックス

国内展開

大型工事増加

コンクリートパイル好調（新工法の積極展開）

工事管理ICTの本格活用

海外展開

ベトナム
PV社

既存事業の業容拡大・FCM連結寄与

ミャンマー
VJP社

本格稼働

I-4 主なトピックス

国内展開

大型工事増加

- 大型工事受注拡大
大型工事売上高(40百万円以上):246億円(前年同期比+3.8%)

コンクリートパイル好調 (新工法の積極展開)

- 2019年度上期国内完工シェア30%達成
- 新工法「MAGNUM工法」の積極展開
- 高強度123NT杭の生産強化

I-5 主なトピックス

国内展開

工事管理ICTの本格活用

タブレット端末を活用し、社内システム・統合型管理装置の連携強化により
工事管理の効率化とデータ管理の厳正化を図る

- システム連携強化による工事管理の効率化・記録精度向上
- 報告書作成時間の大幅短縮
- データ流用・改ざん防止

業界標準ツールとしてオープン化を目指す

I-6 主なトピックス

海外展開

ベトナム
PV社

既存事業の業容拡大・FCM連結寄与

- 事業基盤確立し、業容拡大中
- Fecon Mining Joint Stock Company (FCM)社買収(2018/9)が通期で連結寄与
- 中国企業進出等や官公庁向け工事の停滞から競争が激化

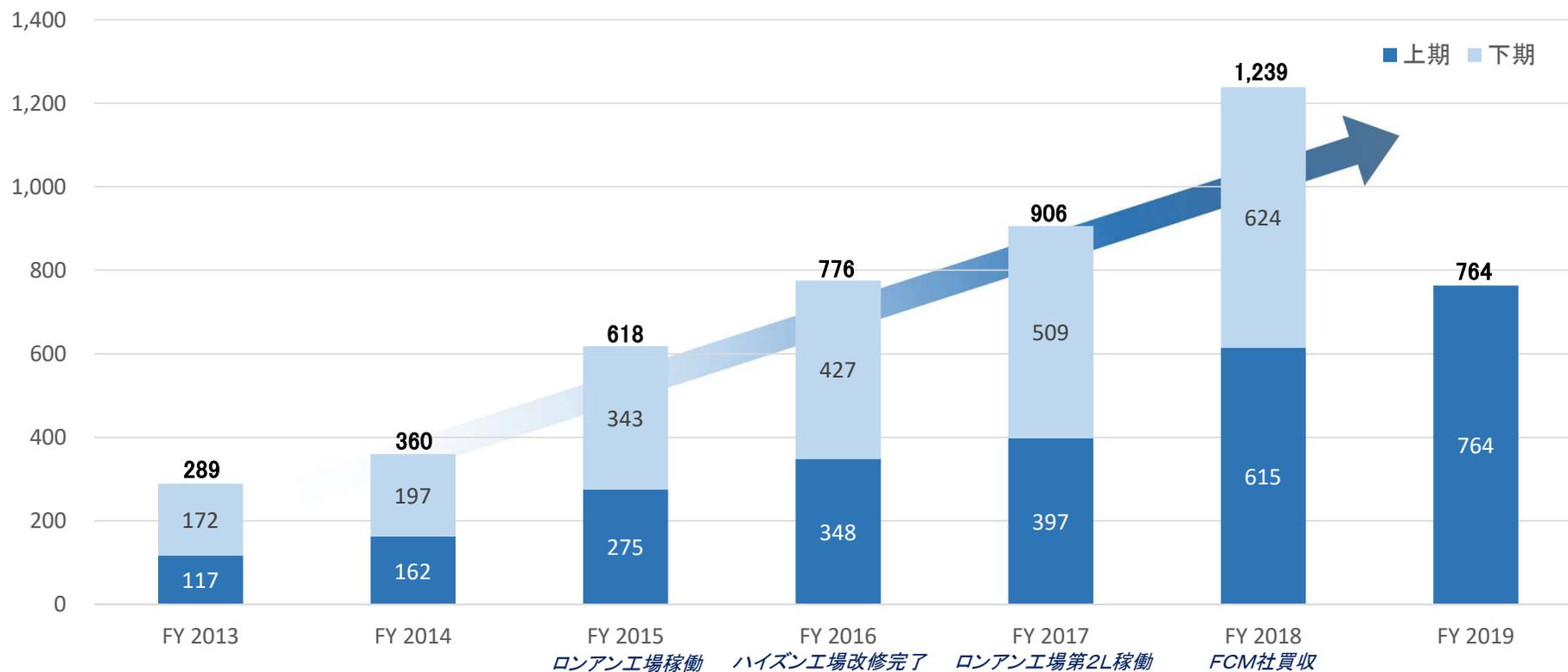
ミャンマー
VJP社

本格稼働

- ティラワ工場本格稼働・生産効率の向上
- 受注好調

ベトナムPV社の生産量推移

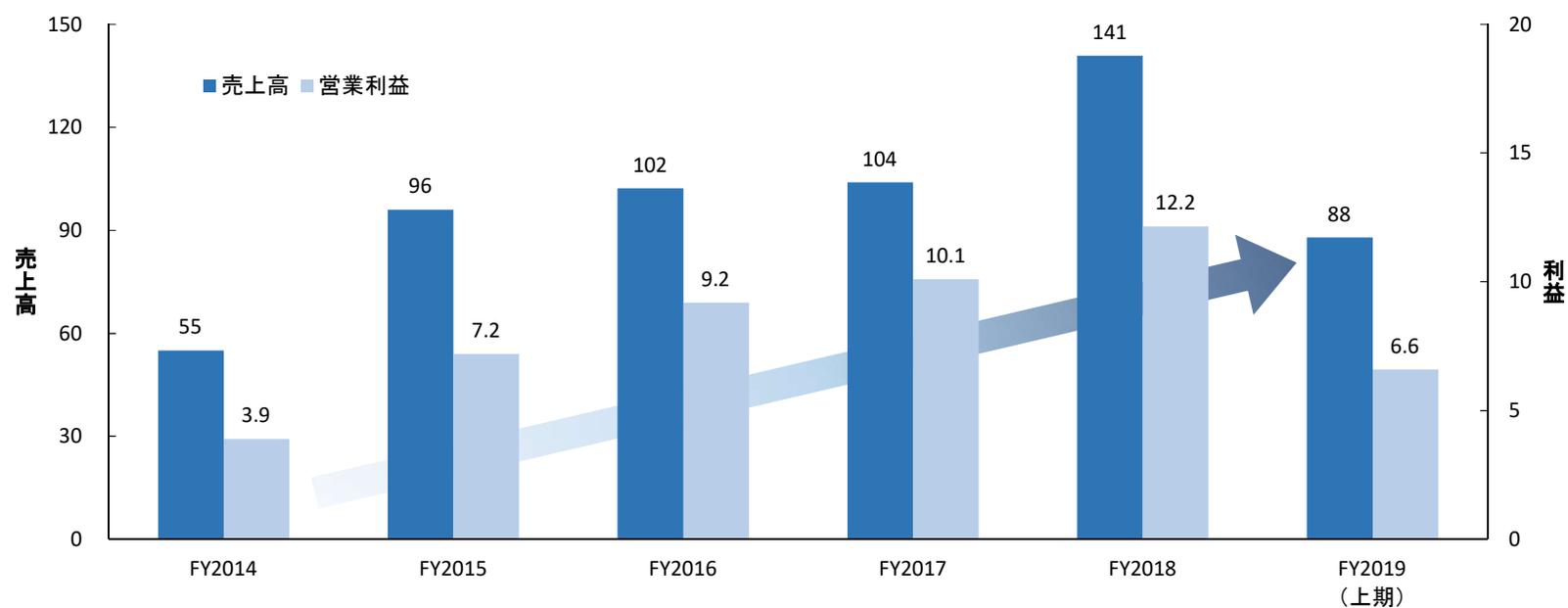
(単位：千トン)



➤ PV社生産量は飛躍的に増加し、ジャパンパイルの生産量を上回る

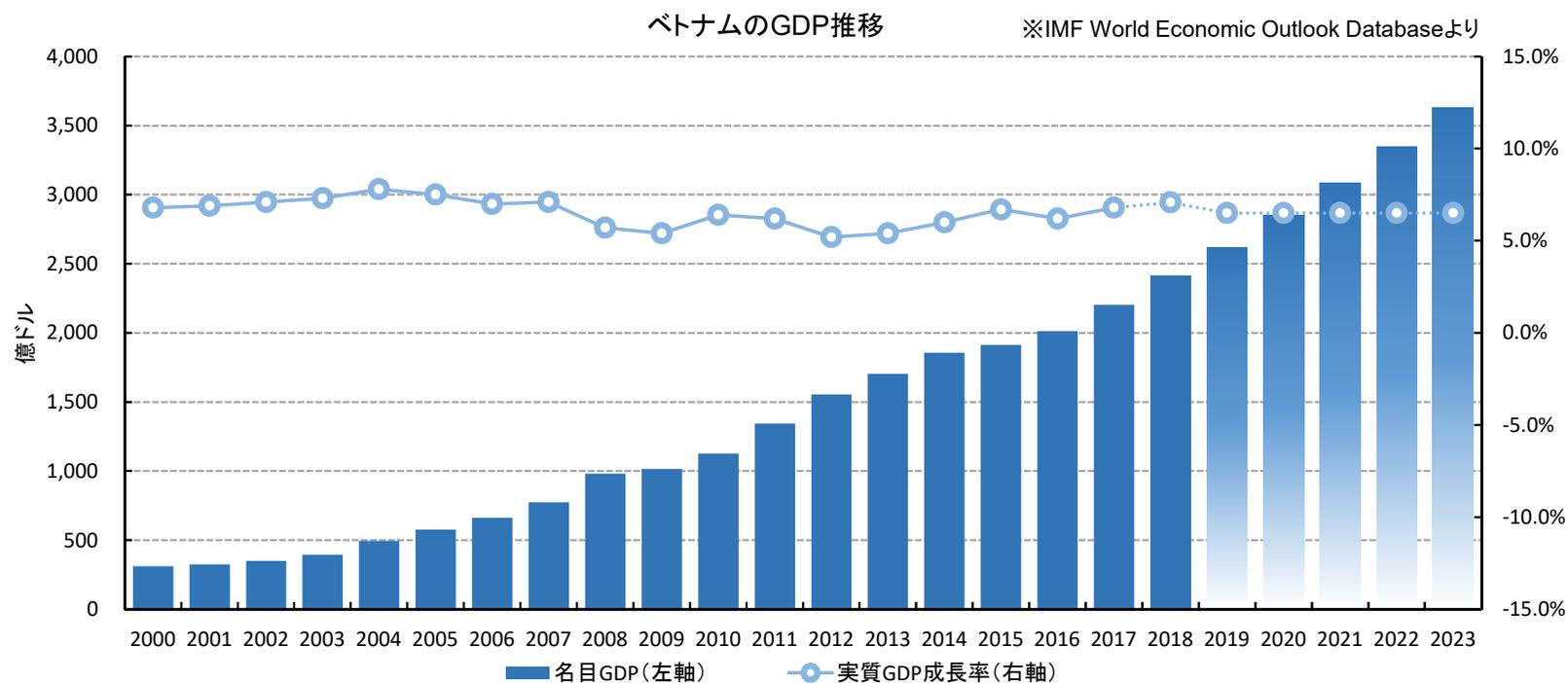
ベトナムPV社の業績推移

(単位:億円)

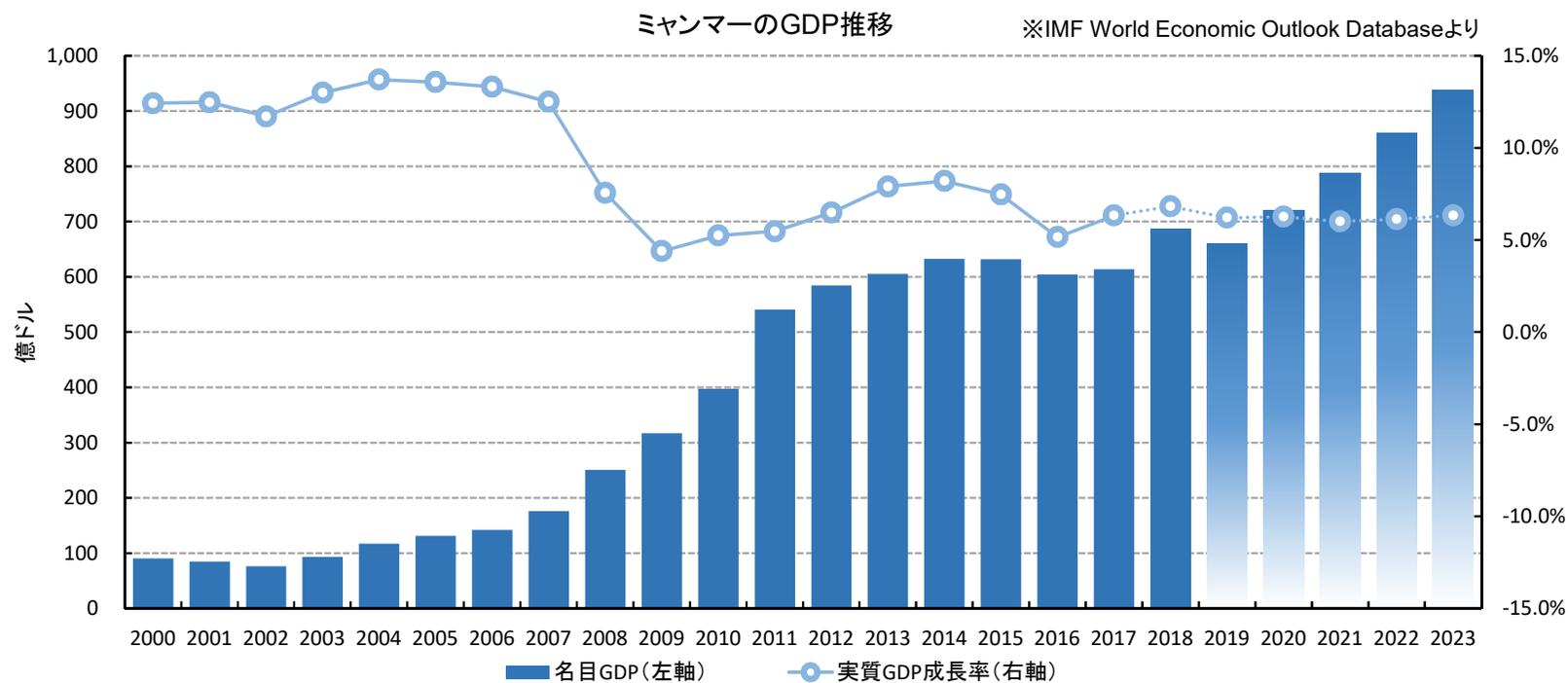


(注) 連結調整前の数値(PV社決算月は12月であり、連結決算は3カ月の期ずれで取り込み)

(ご参考) ベトナムのGDP推移



(ご参考)ミャンマーのGDP推移

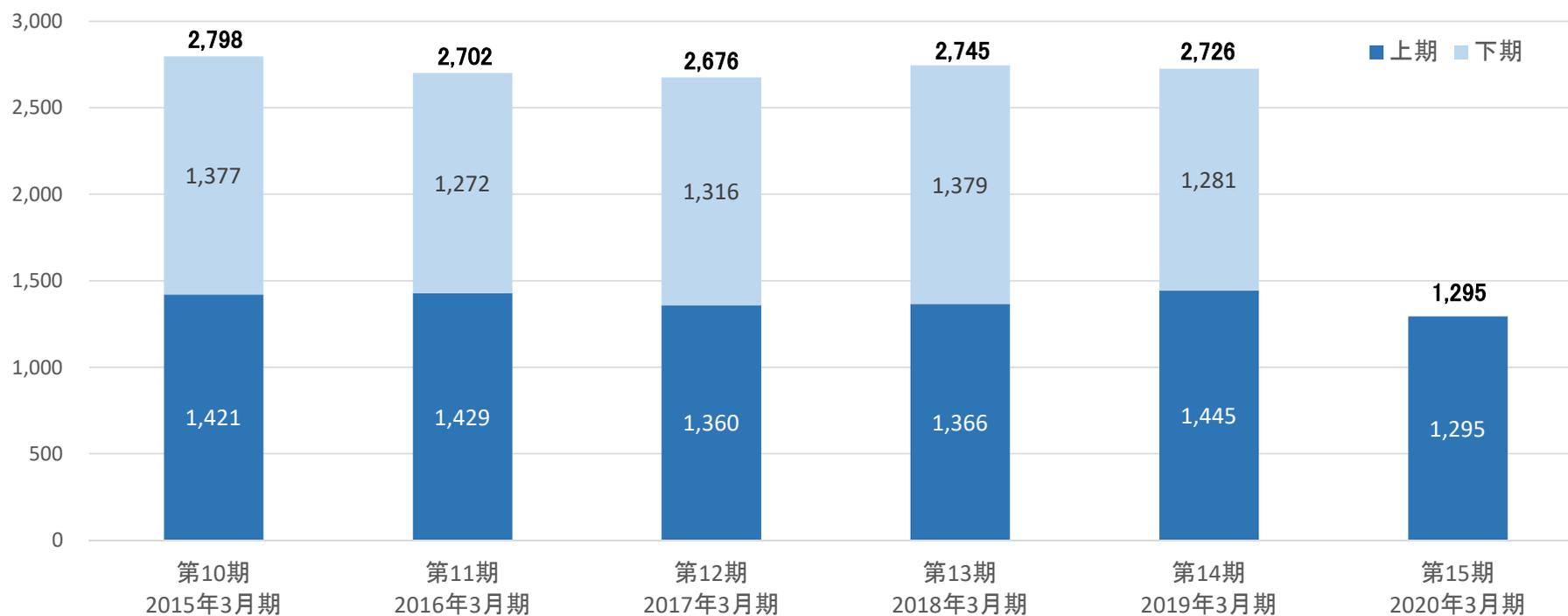


Ⅱ マーケットの動向

Ⅱ-1 全国コンクリートパイロ出荷量

(単位：千トン)

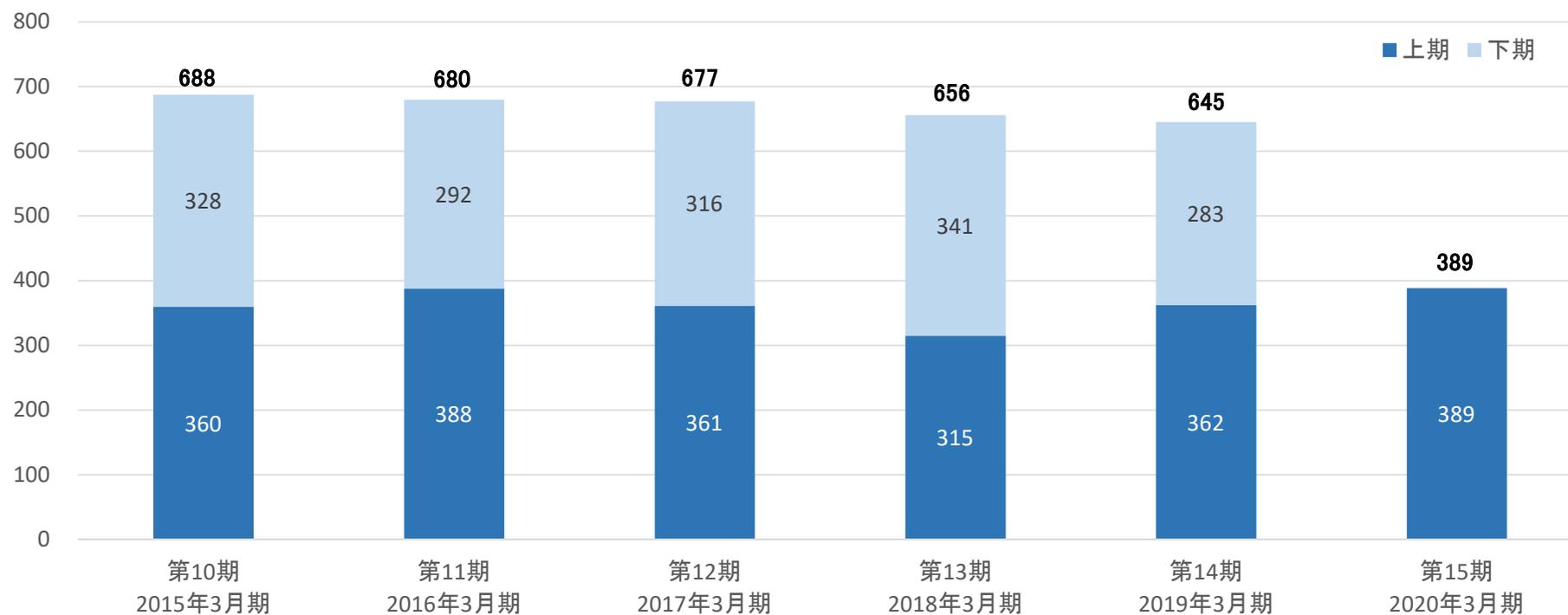
(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料



➤ 2019年度上期は前年同期比 10.4%減少

Ⅱ-2 当社グループのコンクリートパイプ完成量(国内)

(単位：千トン)



➤ 2019年度上期は前年同期比 7.3%増加

Ⅱ-3 コンクリートパイルのシェア(国内)

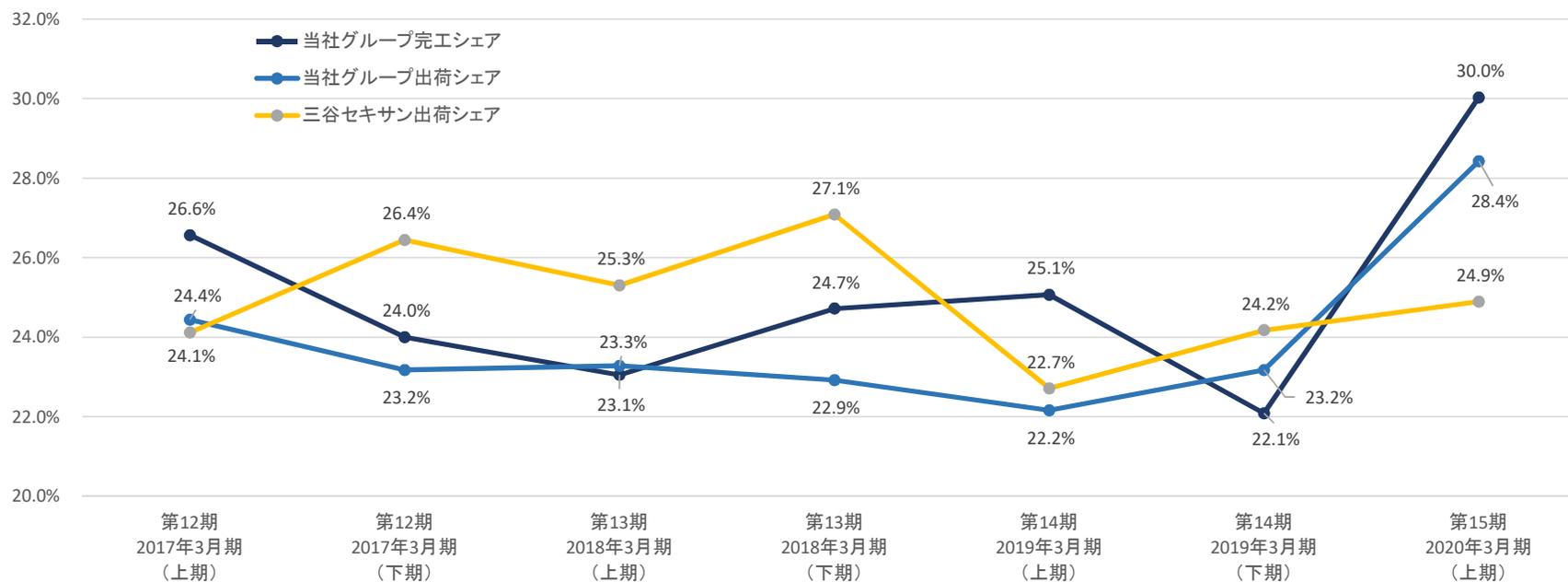
(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料

		第12期 2017年3月期		第13期 2018年3月期		第14期 2019年3月期		第15期 2020年3月期
		(上期)	(下期)	(上期)	(下期)	(上期)	(下期)	(上期)
当社グループ	完工量(千t)	361	316	315	341	362	283	389
	シェア	26.6%	24.0%	23.1%	24.7%	25.1%	22.1%	30.0%
	出荷量(千t)	332	305	318	316	320	297	368
	シェア	24.4%	23.2%	23.3%	22.9%	22.2%	23.2%	28.4%
三谷セキサン	出荷量(千t)	328	348	346	374	328	310	322
	シェア	24.1%	26.4%	25.3%	27.1%	22.7%	24.2%	24.9%
日本コンクリート工業	出荷量(千t)	108	105	142	115	182	151	116
	シェア	7.9%	8.0%	10.4%	8.3%	12.6%	11.8%	9.0%
日本ヒューム	出荷量(千t)	131	118	126	162	144	108	109
	シェア	9.6%	9.0%	9.3%	11.8%	10.0%	8.5%	8.4%
トーヨーアサノ	出荷量(千t)	72	98	86	92	93	82	63
	シェア	5.3%	7.4%	6.3%	6.7%	6.4%	6.4%	4.9%
その他	出荷量(千t)	389	342	348	320	377	334	316
	シェア	28.6%	26.0%	25.5%	23.2%	26.1%	26.0%	24.4%
業界全体	出荷量(千t)	1,360	1,316	1,366	1,379	1,444	1,281	1,295
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

➤ 2019年度上期の完工シェアは30%と大幅にアップ

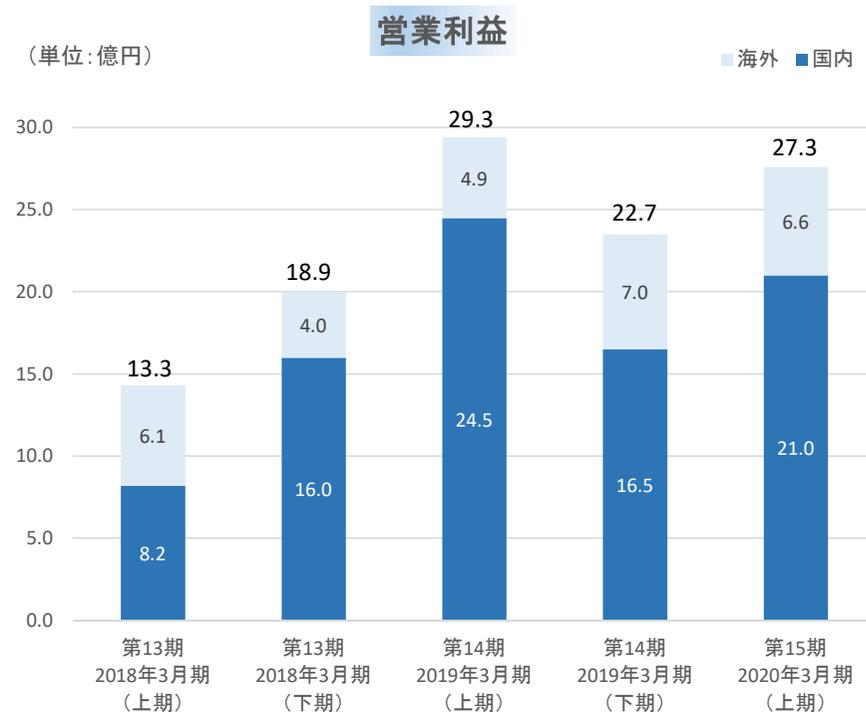
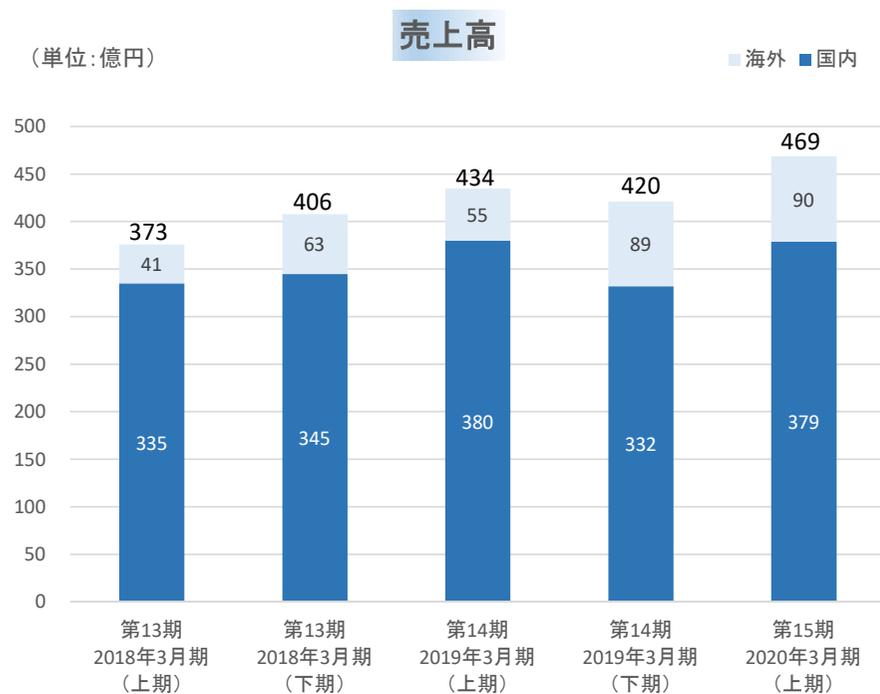
Ⅱ-4 コンクリートパイルのシェア推移(国内)

(出典)一般社団法人 コンクリートパイル・ポール協会資料および当社社内資料



Ⅲ 決算概要(連結)

Ⅲ-1 売上高・営業利益の推移

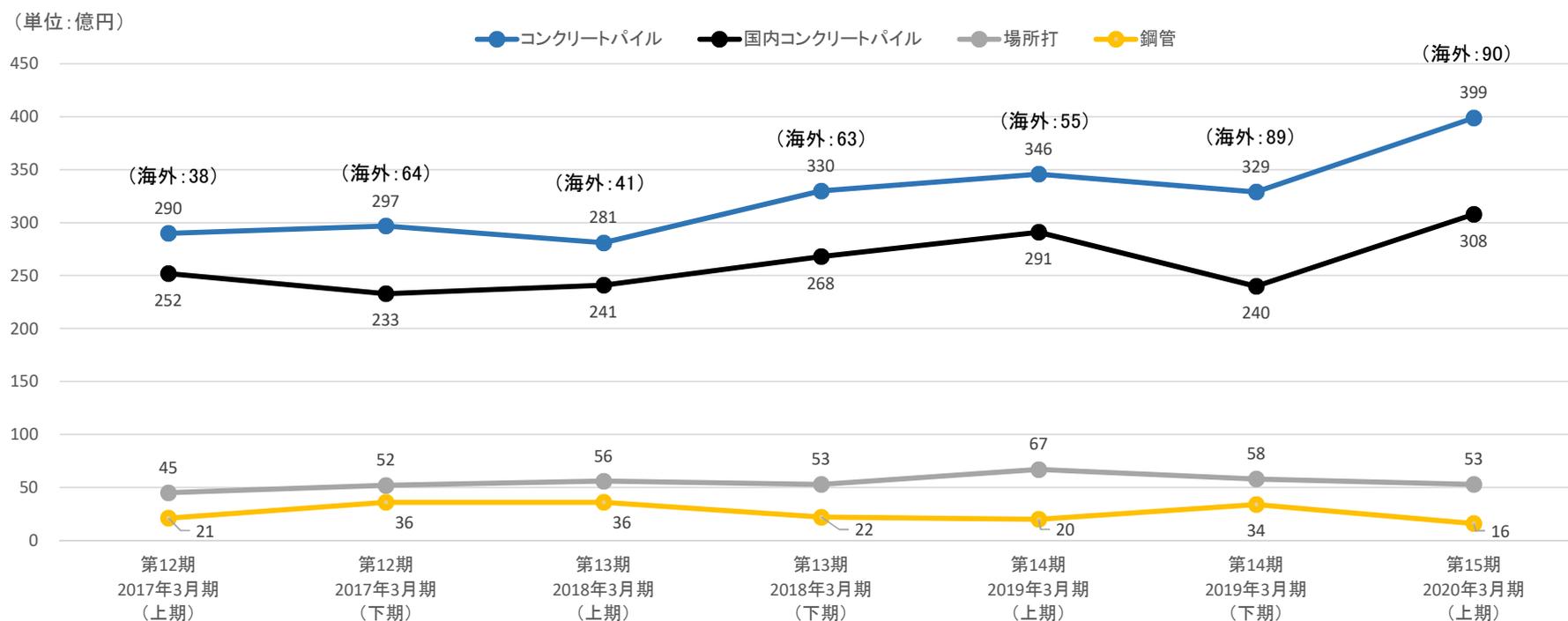


➤ 売上高は前年同期比 8.0%の増収

➤ 営業利益は前年同期比 7.0%の減益

(注)売上高、営業利益の国内・海外内訳は連結調整前

Ⅲ-2 部門別売上高の推移



Ⅲ-3 損益計算書

	第11期 2016年3月期		第12期 2017年3月期		第13期 2018年3月期		第14期 2019年3月期		第15期 2020年3月期		
	(単位:百万円)	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期
売上高		39,003	72,078	35,806	74,422	37,365	77,994	43,491	85,566	46,962	90,000
売上総利益		5,602	10,097	5,159	10,463	5,264	11,336	7,089	13,593	7,209	-
営業利益		1,679	2,324	1,334	2,534	1,325	3,223	2,937	5,212	2,731	5,500
経常利益		1,671	2,235	1,203	2,382	1,203	2,997	2,794	4,847	2,427	5,100
税金等調整前当期純利益		1,679	2,286	1,196	2,198	1,214	3,019	2,912	4,962	2,418	-
親会社株主に帰属する当期純利益		1,132	1,432	846	1,629	761	1,911	1,986	3,164	1,522	3,250
売上高総利益率		14.4%	14.0%	14.4%	14.1%	14.1%	14.5%	16.3%	15.9%	15.4%	-
自己資本当期純利益率		-	5.8%	-	6.3%	-	7.0%	-	10.5%	-	-

Ⅲ-4 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第11期 2016年3月期		第12期 2017年3月期		第13期 2018年3月期		第14期 2019年3月期		第15期 2020年3月期
	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)	通期	(上期)
I. 営業活動によるキャッシュフロー	△ 453	870	△ 676	2,296	288	1,750	△ 211	3,195	3,652
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,341	△ 3,902	△ 1,048	△ 2,502	△ 2,017	△ 3,001	△ 1,769	△ 3,164	△ 1,267
III. 財務活動によるキャッシュフロー	1,800	2,670	△ 1,508	△ 1,177	1,668	2,014	77	1,937	△ 2,074
IV. 現金及び現金同等物の期末残高	10,675	10,301	6,874	8,759	8,611	9,424	7,478	11,330	11,629

IV 経営概況

IV-1 経営概況

1. はじめに
2. 上期の概況
 - (1) 大型工事の増加の継続
 - (2) シェアーの上昇
 - (3) 受注額の増加
 - (4) ICTによる工事管理の開始

IV-2 経営概況

3. 海外業務の状況

(1) ベトナムの状況

(2) ミャンマーの状況

4. 今年度の業績



アジアパイルホールディングス株式会社

Building the foundations of Asia

アジアの基礎をきずく。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、環境の変化等により、実際の結果と異なる可能性があることにご留意下さい。

また、本資料の作成にあたっては細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性については一切保証いたしません。